

# 折り鶴に込める 平和の願い

戦後80年を迎える今、戦争の悲惨さと平和の大切さを次の世代に伝える時を迎えています。  
戦争のない平和な未来を願いを折り鶴にこめてみませんか？

## 募集 期間

令和7年6月20日（金）～令和7年7月21日（月）  
※応募が集まり次第終了

紐に通すため、  
畳んだ状態で  
回収します！



## 募集 方法

釧路市オリジナルの丹頂鶴デザインの折り紙で作成します。  
必要な方は事務局までご連絡ください。  
設置してある回収ボックスまたは事務局にて直接収集します。

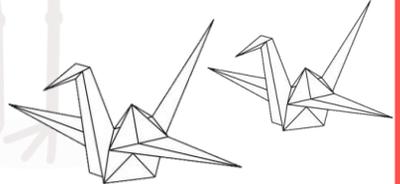
設置個所：釧路市役所本庁舎、釧路市立博物館、釧路市中央図書館、コア鳥取、  
コア大空、コアかがやき、市民活動センターわっと

## 対象

どなたでもご参加できます  
学校や団体など、お子様からご年配の方まで、平和への祈りを折り鶴に込めてください。  
※より多くの皆様にご参加いただくため、お一人様1羽とさせていただきます。

## 奉納先

広島市平和記念公園「原爆の子の像」  
8月に派遣する被爆地訪問市民代表団が奉納いたします。



## なぜ広島市へ千羽鶴を奉納するの？

日本の伝統的な折り鶴ですが、平和と結びつけて考えられるようになったのは、被爆者である佐々木禎子さんが大きく関わっています。

佐々木禎子さんは原爆投下当時広島市に住んでいた2歳の女の子です。原爆による放射能の影響で、12歳の時に白血病を発症します。入院中「千羽鶴を折ると願いが叶う」という日本の言い伝えを信じて、元気になれるようにと千羽以上の鶴を折り続けました。

禎子さんの死後、級友たちの呼びかけにより、広島市平和記念公園に「原爆の子の像」が建てられました。像の上には金色の折り鶴を掲げる禎子さんの姿があり、毎年世界中から平和への願いを込めた千羽鶴が奉納されています。

## 戦後80年関連事業のお知らせ

展示「釧路空襲80年」  
□期間：6/28（土）～7/15（火）  
□会場：釧路市中央図書館7階 展示室

講演会「私の釧路空襲-戦争の記憶-」  
□日時：7月5日（土）  
□会場：釧路市立博物館 講堂

講演会「戦争遺跡からわかること（仮）」  
□日時：8月3日（日）  
□会場：釧路市立博物館 講堂

## お問い合わせ先

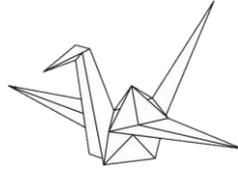
釧路市平和都市推進委員会事務局  
（釧路市市民生活課）

電話：31-4521 FAX：23-5213

メール：shi-seikatuanzen@city.kushiro.lg.jp



# 鶴の折り方



<p>1</p> <p>頭が上側で裏面から始めます。真ん中から半分におります。</p>	<p>2</p> <p>更に頭が内側になるように半分におります。</p>	<p>3</p> <p>▼から袋を開いて図のように潰します。</p>	
<p>4</p> <p>図のような形になったら裏返します。</p>	<p>5</p> <p>反対側も同じように潰します。</p>	<p>6</p> <p>図のように折り目を付けて戻します。</p>	<p>7</p> <p>端を持ち上げて折り目に沿って袋をつくるように折ります。</p>
<p>8</p> <p>図のように袋を潰していき、図の形になったら裏返します。</p>		<p>9</p> <p>同じように折ります。</p>	<p>10</p> <p>中心に向けて点線で両面とも折ります。</p>
<p>11</p> <p>首としっぽの部分を2枚の羽の間に矢印の方向におりあげます。(中わり折)</p>	<p>12</p> <p>図のように頭を折り込み羽をひろげます。</p>	<p>この状態で、</p> <p>← <b>完成です!</b> → </p> <p>※ 紐に通すため、畳んだ状態で回収します</p>	